

小学校第五学年 国語 調査票

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

1 (お話を聞いて学べる問題)

一 山本さんは、この話し合いの記録を次のようにノートにまとめました。

ア、イにふさわしい言葉を書きましょう。

一	日時	七月十一日(金)	(記録 山下)
二	場所	五年A組教室	
三	参加者	五年A組三十三名	
四	議題	「ア」	
五	主な意見		
	①	あぶないところ ・ スーパーマーケットの前の道 ・ 校門を右に曲がったところの交差点	
	②	(イ) ・ 先生に言って、けいさつや市役所の人に なんどかしてもらおう。 ・ きげんなどところをしめす地図を作る。	

ア

イ

二 この学級会では木田さんが議題を提案しています。どなたか返をつけて提案していますか。次のアからエまでの中で、ふさわしくないものを一つ選び、その記号を□の中を書きましょう。

- ア 自分が継続していないことを説明している。
- イ 提案理由をはっきりとよせて話している。
- ウ 話し合ってもらいたいことを明らかにしている。
- エ 学級の人々に関係のある内容を提案している。

三 司会者は地図を作るという意見に賛成かどうかをたずねていますが、あなたが話し合いに参加しているとするれば、地図を作ることに賛成ですか、それとよ、反対ですか。どちらかを○で囲み、その理由を書きましょう。理由は実際に話し合いの中で発言するようには書きましよう。

あなたの意見 ↓ 賛成 ・ 反対

理由

小国-1

2 次の①から⑦に答えましよう。

一 次の①から③までの―― 総部の漢字の読みかなを□の中に、ひらがなでいねいに書きましよう。

- (1) 本を 注文 する。
- (2) 今日の午後は、都合 がよい。
- (3) 新しい方法を用 いる。

(3) (2) (1)

いる

二 次の①から③までの文の―― 総部のひらがなを□の中に、漢字でいねいに書きましよう。

- (1) なんきやく 大陸のべんぎん。
- (2) 電気を せつやく する。
- (3) 冬は さむい。

(3) (2) (1)

い

三 正しい筆順で「発」という字を書きたいと思います。黒い点をついた部分は、何画目に書けばよいでしょうか。漢数字を答えましよう。

発

画目

四 次の①と②に答えましよう。

(1)下のローマ字の言葉をひらがなで書きましよう。

tyokinbako	<input type="text"/>
------------	----------------------

(2)下のひらがなの言葉をローマ字で書きましよう。

う さ き	<input type="text"/>
-------	----------------------

小国-2

五 文は、点（・）を打つところによって意味が変わってきます。□の中の意味に合うものは、次の文の（ ）に点（・）を打てばよいでしょうか。アからウまでの中から一つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

ぼくは ア（ ）笑いながら イ（ ）遊んでいる ウ（ ）弟を見た。

笑っているのはぼく

六 次のアとイの「けん」と組み合わせることができる共通する「つくり」を□の中に書きましょう。

(例)

ア	さんずい	イ	にんべん	
	泣		位	共通する「つくり」 →
				<input type="text" value="立"/>

ア きけん      イ つおべん      共通する「つくり」 →

七 次の文の主語と述語は、どれですか。また、「<sup>ア</sup>ミダカを」が、くわしくしている言葉はどれですか。アからウまでの中から一つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

ア <sup>ア</sup>見は <sup>イ</sup>ミダカを <sup>ウ</sup>大きな <sup>カ</sup>ガラスの <sup>ク</sup>水そうに <sup>ケ</sup>入れた。

(1) 主語       述語       (2) くわしくしている言葉

小国-3

3 次の文章を読んで、一と二に答えましょう。

調査時にはここに問題文と挿絵が入る

小国-4

4 次の文章は、『チワラのにしき』<sup>※</sup>という物語の始まりの部分です。この文章をよく読んで、1から3に答えましょう。

※ 「にしき」…金色や銀色、またはいろいろな色のまぬ糸でもまゆを織り出したあつい布のこと。

調査時にはここに問題文が入る

小国—6

ゆかさんが作るパンフレット

### ヤドカリとイソギンチャクのひみつ

ゆか：なぜ、ヤドカリは、**A**のかな？

ゆか：ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝からに付けることで敵から身を守っているのですよ。

ゆか：生き物はなぜヤドカリはイソギンチャクをどうやってうつすの？

ゆか：イソギンチャクののはりです。

ゆか：ヤドカリが自分の貝からに付ける間、イソギンチャクは気持ちよさそうにしているし、はりもとどひ出さないのですよ。

ゆか：イソギンチャクは、ヤドカリの貝からに付くことで、何か利益があるのかな？

ゆか：えさを

まとめ  
ヤドカリとイソギンチャクは、**C**

- 1 ゆかさんは右の文章を使って、「ヤドカリとイソギンチャクのひみつ」というパンフレットを作ることになりました。
- (1) 右の文章の中から問いを投げかけている文を見つけて、パンフレットの中の**A**にはまる言葉を書き込んでみましょう。
- A** のかな？
- (2) 右の文章の中から、パンフレットの中の**B**にふさわしい内容を読み取り、「えさを」に続けて書きましょう。
- B** えさを
- (3) 右の文章の中から、筆者が読者にもっとも伝えなかつたことを読み取り、パンフレットの中の**C**に「ヤドカリとイソギンチャクは、」に続けて書きましょう。
- C** ヤドカリとイソギンチャクは、

小国—5

- 1 分かりやすい文章になるように、筆者が工夫していることは何でしょうか。ふさわしいものを、次のアからエまでの中から二つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。
- ア はかの文章を引用して書いている。
- イ 実験や観察の様子をくわしく書いている。
- ウ たがいに助け合っている生き物の例をたくさん書いている。
- エ 問いと答えをくり返し、順序よく書いている。
- □

一 文章の中の―部は、登場人物の気持ちを強調している表現です。だれのような気持ちを強調していますか。次の□にはおぼえる登場人物とその気持ちを、文章の中からさがし、書きまわしましょう。

登場人物

の 気持ちを

気持ちを強調している。

二 □ア・□イ・□ウ・□エの中から、「おほあさん」「ロモ」「ロトエオ」「ロロ」という登場人物が入ります。それぞれおぼえる登場人物を書きましょう。同じ登場人物を二回使ってもかまいません。

ア

イ

ウ

エ

小国一7

三 平山さんの字級では、この文章を読んだ後、感じたことや気づいたことを話し合いました。【話し合いの様子】をよく読んで、あとの□に答えましょう。

【話し合いの様子】

**先生** この文章を読んで、感じたことや気づいたことをみんなで話し合きましょう。まず、人物のことについて話し合います。

**平山** わたしが一番心に残ったのは、おほあさんの気持ちです。「毎日、毎日」「一月、一月、たちました」「朝も、昼も、夜も―」という言葉から、どうしてもときを完成させたい、というおほあさんの強い気持ちが伝わってきました。

**中川** ほくも同じことを感じました。でも、ほくがおほあさんの強い気持ちを感じたところは、平山さんとはちがうところがあります。ほくはこの文章の後半部分にある「□A」という一文の強い気持ちが一番表れていると思いました。

**栗木** うん、うん。わかります。この文に書かれている行動には、どんなことがあってもときを完成させたい、という気持ちが出てくるものね。わたしはこの文から「もくもくとときをやるおほあさん」という言葉が浮かびました。

（中、背のそく）

**先生** なるほど。じゃあ次に、表現の仕方について話し合ってみましょう。おもしろいな、工夫しているなと感したり気づいたりした表現はありませんでしたか。

**木村** わたしは、おほあさんの言葉が少しずつ変わっていくところがおもしろいと思いました。書いてきた紙を三人のむすしたちに見せて話しかける場面があります。言葉の最後が、だんだん変わっていくんです。

**大石** そう、そう、ほくも気づきました。特に、ロモに言った言葉の最後とロトエオに言った言葉の最後は、とても似ているけれど何かちがうんです。思ってたんだん□B いるように思いましたが、みなさんはどう思いますが。

**平山** わたしもそう思います。同じ「くらす」という言葉を使っているけれど、ロモに言った言葉「くらせたらねえ。」より、ロトエオに言った言葉「くらしたらねえ。」の方が、思いが□B いるように感じられます。

（話し合いが続く）

小国一8

